

資料 2 : 旧門脇小学校の遺構ポイントと保存・活用に向けた課題

【旧門脇小学校の遺構としてのポイント】

- ・震災地域でも震災・津波・火災の3つの被災した遺構は旧門脇小学校だけである。
- ・被害状況について、1階は津波で浸水しており、火災については、校舎東側から燃え広がり、校舎西側の1階、2階には被害がなく、3階は全て全焼と特徴的な燃え方をしており、被災時の現況を見せることができる。また、被災後、手を加えられていないため、津波被害の状況や火災の燃え広がり方など震災の痕跡をそのまま伝えることができる。
- ・被災しただけでなく、生徒の避難にも成功した学校であるため、避難訓練の重要性を伝えるものとしての価値もある。

【保存・活用に向けた課題】

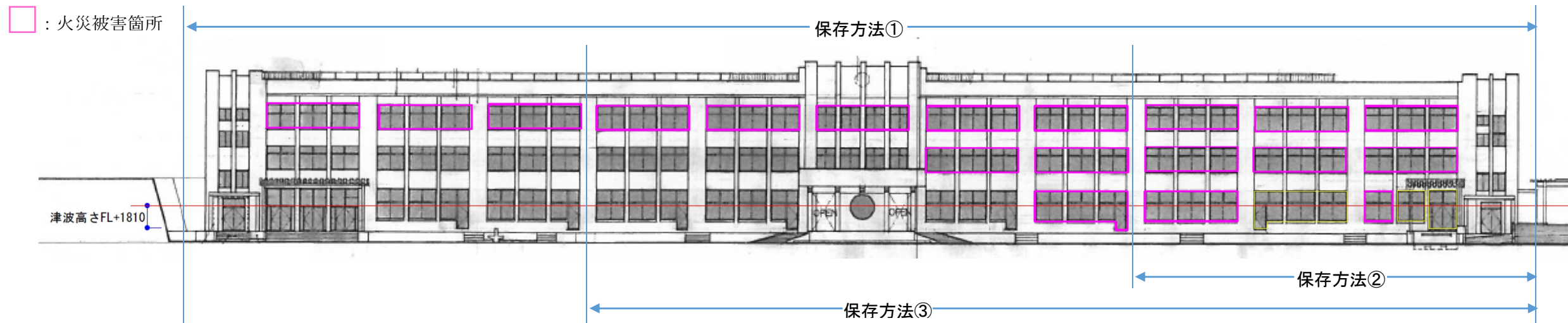
- ・震災時のまま残されているため、地域住民に配慮した活用が望まれている。
- ・市民の生活利便性を考慮するような活用が望まれるが、地域住民の意向を考慮し、校舎が南側の道路から視覚的に見えないようにする工夫が必要である。

【保存方法検討パターン】

保存方法①：現状全てを保存

保存方法②：被災の特徴である火災部分（東側3スパン）を保存

保存方法③：火災部分及び火災の燃え広がり方を保存するため、解体部分を最小限に抑えて保存



活用方法 1：廊下部分を見学コースとし、見学者を建物内に入室させる

保存方法パターン		保存方法①	保存方法②	保存方法③
保護屋根	初期整備費	857,740 千円	218,127 千円	708,546 千円
	維持管理費	17,850 千円	12,350 千円	17,850 千円
	長期修繕費	9,550 千円	1,950 千円	7,700 千円
【参考】 目隠し	初期整備費	192,140 千円	203,827 千円	170,346 千円
	維持管理費	16,350 千円	11,850 千円	16,350 千円
	長期修繕費	4,550 千円	1,500 千円	3,650 千円

活用方法 2：校舎南側に見学通路を新設し、建物外部から見学する

保存方法パターン		保存方法①	保存方法②	保存方法③
保護屋根	初期整備費	1,025,037 千円	361,543 千円	810,238 千円
	維持管理費	17,850 千円	12,350 千円	17,850 千円
	長期修繕費	11,800 千円	4,700 千円	10,100 千円
【参考】 目隠し	初期整備費	359,437 千円	347,243 千円	272,038 千円
	維持管理費	16,350 千円	11,850 千円	16,350 千円
	長期修繕費	7,000 千円	4,250 千円	6,050 千円

- ・ 内部見学とすることで、内部にあるものを一部移転させる費用が発生する。
- ・ 耐震補強費・保存処理費は、耐震診断調査を実施しなければ積算できないため、上記の表には含まれていない。
- ・ 耐震補強により、現在の外観をそのまま維持することは困難である。

- ・ 耐震診断の結果次第では耐震補強する必要があり、耐震補強費・保存処理費は、耐震診断調査を実施しなければ積算できないため、上記の表には含まれていない。
- ・ 外部に通路を設けるため、現在の外観をそのまま維持することは困難である。